

## ボディーは何で出来ているの？

ソーラーカーのボディーの色は、それぞれの色のカッティングシートを貼っていますが、この下の色は真っ黒です。これは全てカーボン素材でできており、間にハニカムを挟み加熱することで、頑丈なボディーに変身します。その他にバッテリーボックス、MTTP ボックス、シャーシー（車体の下部）とソーラーカーの大部分に使用されています。

カーボン素材を貼る作業も手間がかかる細かい作業です。カーボン素材は、網状のシートを何枚か方向を変えて貼ることで、より優れた強度を得ることができます。これを真空状態にさせ釜で130度に焼き、十分冷ました後に硬くなる性質へと変化します。

この一連の作業が上手くできないとカーボンにシワがより、表面がザラザラになってまい空力的にもマイナスです。

作業中の高等部生がカッターを軽快に動かしていました。「僕なんかまだまだですよ、大学生はもっと上手に貼るんですよ。」と、先輩にはやっぱりかなわない...という表情をしながら根気のいる作業に集中していました。

